

**一記入例一 第一種銃猟登録（散弾銃のみを用いる）とわな猟登録を同時に行う場合**

別記様式第12号（規格A4）（第10条関係）

（表面）

		※登 録 番 号	
		※狩 猟 免 許	
		※損 害 の 賠 償	
		※放鳥獣猟区の区域の登録の有無	
		※施行規則第65条第7号、第8号又は第9号の該当者が否かの別	
※整理番号		※対象鳥獣捕獲員の要件	
狩 猟 者 登 録 申 請 書  群馬県知事 あて  <p align="center" style="color:red; font-weight:bold;">令和 6 年 9 月 24 日</p>			写 真
ふ り が な	ぐんま たろう	収 入 証 紙	
氏 名	群馬 太郎	※押印不要	
生 年 月 日	昭和 55 年 1 月 1 日 生		
住 所	〒 371-8570  群馬県前橋市大手町1-1-1		
電 話 番 号	027-223-1111		
下記のとおり狩猟者登録を受けたいので、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第56条の規定により申請します。 <p align="center">記</p> (1) 狩猟者登録を受けようとする狩猟免許の種類、使用する猟具の種類、免許を与えた都道府県知事名、交付年月日並びに狩猟免状の番号及び所持する免許の種類。 なお、第1種銃猟免許を受けたが空気銃のみを申請する場合は、第2種銃猟免許に係る登録申請をすること。			
網猟免許に係る登録	1 網	都道府県 知事名	交付 年月日
わな猟免許に係る登録	2 わ な	都道府県 知事名	交付 年月日
第1種銃猟免許に係る登録	3 ライフル銃 4 散弾銃 5 空気銃	都道府県 知事名	交付 年月日
第2種銃猟免許に係る登録	6 空気銃	所持する免許の種類 <input type="checkbox"/> 第1種銃猟免許 <input type="checkbox"/> 第2種銃猟免許	
		都道府県 知事名	交付 年月日
			年 月 日
			狩猟免状の番号
			狩猟免状の番号
			○○○○○○○○
			狩猟免状の番号
			令和5年10月23日
			○○○○○○○○
			狩猟免状の番号
			令和6年 9月15日
			○○○○○○○○

注 空気銃は、圧縮ガスを使用するものを含む。

一記入例一 第一種銃猟登録（散弾銃のみを用いる）とわな猟登録を同時に行う場合

(裏面)

(2) 狩猟をしようとする場所									
<input checked="" type="checkbox"/> 1 県の区域全域	<input type="checkbox"/> 2 放鳥獣猟区の区域								
(3) 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第65条第1項第7号、第8号又は第9号の該当者であるか否かの別（該当の□に☑印を付する。）									
<input type="checkbox"/> 第7号（許可捕獲等をした者）に該当 <input type="checkbox"/> 第8号（許可捕獲等に従事した者）に該当 <input checked="" type="checkbox"/> 第9号（認定鳥獣捕獲等事業者の捕獲従事者）に該当 <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない。									
(4) 対象鳥獣捕獲員に係る要件（□に☑印を付し、かつ、対象鳥獣捕獲員の場合は、所属している市町村の名称を記載する。）									
<input checked="" type="checkbox"/> 対象鳥獣捕獲員（市町村名： <input checked="" type="checkbox"/> 対象鳥獣捕獲員でない <input type="checkbox"/> 対象鳥獣捕獲員として本年度の狩猟者登録申請を行ったが、対象鳥獣捕獲員を解任されたことに伴い狩猟者登録が取り消されたので、再度狩猟者登録申請を行う。									
(5) 免許の効力の停止の有無（ない場合には「ない」と、ある場合には「ある」と記入し、かつ、ある場合には、その停止の期間を記載すること。）									
免許の効力の停止の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ない								
停止の期間	年 月 日から 年 月 日まで								
(6) 猟銃・空気銃所持許可証番号及び交付年月日（第1種銃猟免許又は第2種銃猟免許の場合）									
第1種銃猟免許	ライフル銃 散弾銃 空気銃								
第2種銃猟免許	空気銃								
猟銃・空気銃所持許可証番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇号								
交付年月日	令和6年 9月15日								
(7) 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第67条の要件に関する事項									
共済事業	<table border="1"> <tr> <th>法人名</th> <th>対象損害</th> <th>給付額</th> <th>被共済の期間</th> </tr> <tr> <td>(一社) 大日本猟友会</td> <td>対人</td> <td>40,000千円</td> <td>R6.11.15～R7.11.14</td> </tr> </table>	法人名	対象損害	給付額	被共済の期間	(一社) 大日本猟友会	対人	40,000千円	R6.11.15～R7.11.14
法人名	対象損害	給付額	被共済の期間						
(一社) 大日本猟友会	対人	40,000千円	R6.11.15～R7.11.14						
損害保険契約	<table border="1"> <tr> <th>保険会社名</th> <th>対象損害</th> <th>保険金額</th> <th>被保険期間</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	保険会社名	対象損害	保険金額	被保険期間				
保険会社名	対象損害	保険金額	被保険期間						
資産保有									
(8) 職業									
会社員									
1 専門的・技術的職業従事者      2 管理的職業従事者 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事務従事者      4 販売従事者 5 農林業従事者      6 漁業従事者      7 採鉱・採石作業者      8 運輸・通信従事者 9 技能工・生産工程作業員      10 単純労働者      11 保安職業従事者      12 サービス職業従事者 13 分類不能の職業      14 無職									
記載上の注意事項									
1 文字は、楷書で明瞭に記載すること。 2 (1)は、狩猟免許の種別及び該当番号を○で囲み、該当項目の□に☑印を付すこと。 3 (2)は、該当番号を○で囲むこと。 4 (4)で対象鳥獣捕獲員に☑印を付した場合は、市町村長が発行する「対象鳥獣捕獲員であることを証する証明書」を添えること。 5 (8)は、職業を具体的に記載し、さらに職業分類の該当番号を○で囲むこと。 6 ※印の欄には、申請者は記載しないこと。									